



ハダノ 上 下 水道物語

～創刊にあたって～



「秦野名水」を次世代へ 引き継ぐために

多くの市民の皆さまに、秦野市の上下水道事業について理解を深めていただく契機として、「ハダノ上下水道物語」を創刊します。

上下水道の
仕組みって
なに…？

秦野の上下水道の
歴史は…？

秦野の水道料金と
下水道使用料に
ついては…？

地方公営企業会計
とは…？



私たちの生活は、蛇口をひねれば、いつでも安全で、安心して、そのまま飲むことができる水が出ます。その水は排水口に流れ、処理場できれいに浄化された後、川に放流され清流を守っています。私たち秦野市上下水道局は、先人から受け継いだこの当たり前であることを守り続けるために、努力を続けてきました。そして、これからも当たり前であり続けるために、たとえどんなに厳しい時代の中でも、できる努力を惜しみません。

そのために、令和3年3月に令和3年度からの10年間における、私たちの具体的な行動を示す「はだの上下水道ビジョン—秦野の上下水道の『今まで』と『これから』—」を定め、市民生活や事業活動に一時も欠かすことができない上下水道事業の経営にまい進していきます。

この度、創刊となる「ハダノ上下水道物語」は、日頃知る機会が少ないゆえに皆様の関心や意識が低い上下水道事業について、定期的に紹介し、上下水道事業の役割や重要性を皆様に知っていただくことを目的とし発行しました。

当たり前である上下水道事業を今後も守り続けて「秦野名水」を次世代へと引き継いでいくためには、上下水道事業に対する市民の皆様のご理解とご協力が不可欠になりますので、多くの皆様に目を通していただければ幸いです。

！！秦野市の上下水道事業をもっと知ってもらいたい！！

～第1話～「上下水道ビジョン」についてのお話

水道マスコット
キャラクター
Dr.すいどー



下水道マスコット
キャラクター
スイスイ



令和3年4月
Vol. 1

はだの上下水道ビジョン

— 秦野の上下水道の「今までと」「これから」 —

上下水道局では、先人から受け継いできた豊富な地下水や里地里山の原風景などの貴重な財産を未来へ引き継ぎ、将来にわたって持続的かつ安定的な事業経営を目指すとともに、令和3年度からの10年間の上下水道事業の具体的な行動を示すため、令和3年3月に「はだの上下水道ビジョン」を策定しました。

策定の目的

近年の人口減少や自然災害の増加などは、社会経済情勢に大きな変化をもたらし、本市の上下水道事業経営を取り巻く環境にも大きな影響を与えています。

また、高度経済成長時代を中心に集中的に整備されてきた公共施設は、上下水道に限らず老朽化が進み、計画的な施設の更新や統廃合を進めなければならない時期が間近に迫ってきています。

今後も事業環境は厳しさを増していくことが予想される中、**令和3年度からの本市における上下水道事業経営のあるべき姿とともに、具体的な行動である事業計画及び財政計画を示すビジョンを策定し、持続可能な事業経営を目指していきます。**

構成と期間

基本理念

およそ30年から50年の中長期先を見据えた将来像
(安全・安心／安定・強靱／健全・持続)

基本方針

10年間の経営方針

基本施策

10年間の事業の取組みの方向性

具体的施策

水道事業計画
公共下水道事業計画

前期(令和3年度～令和7年度)
後期(令和8年度～令和12年度)

ハダノ
上下水道物語
創刊号

事業環境と将来予測

更新需要増大への対応	非常時の備えの強化	有収水量減少への対応	経営の健全化に向けた対応
上下水道施設への更新投資	上下水道施設の耐震化	水道料金及び下水道使用料	補填財源残高及び純損益
↓	↓	↓	↓
1.5倍～2倍以上増加 (※直近10年間と令和3年度以降の比較)	基幹管路(導・送水管)等の耐震化向上の必要性 (※全国や神奈川県と比較し、耐震化が遅れている状況)	人口減少や節水意識の定着に伴う減収の加速	マイナスに転じる見込み (※人口減少に伴う収益の減少及び老朽化した施設の更新や耐震化への取組みに伴う支出の増加のため)

基本理念と取組みの視点



基本理念の実現に向けた主な取り組み

**基本方針①安全でおいしい水道水の供給
安定した汚水処理と浸水対策のさらなる推進**



地下水を水道水源として持続的に活用するとともに、水質管理体制の強化などにより、安全でおいしい水道水の安定供給に努めます。

汚水・汚泥の安定した処理を継続するとともに、雨水整備計画を策定し、計画的・効果的に浸水対策を進め、豪雨による浸水被害の低減に努めます。



職員による施設点検

水道

安定した汚水処理

下水道

水源の確保

→ 汚水枝線管きょ及び汚水ますの整備

→ 芹沢取水場の更新

効果的な浸水対策の推進

→ 雨水幹線及び枝線管きょの整備

基本方針②適切な資産管理と施設維持の強化



適切な維持管理により施設や管きょの長寿命化を図るとともに、資産管理による更新需要の平準化に努めます。



浄水管理センター改築工事

水道

下水道

効率的な施設整備

効率的な施設整備

→ 本町第5取水場や寺山配水場の更新

→ 計画的な管きょ等の更新

→ 機械・電気設備等の更新

→ 浄水管理センター機械棟・水処理棟等の更新

基本方針③災害に強い施設や体制の構築



災害時における業務継続体制を検討するとともに、新たな整備手法の導入による耐震化の推進など、より災害に強い体制の構築に努めます。



基幹管路の耐震化工事

水道

下水道

耐震化の推進

耐震化の推進

→ 基幹管路（導・送水管）の耐震化

→ 中央処理区管きょの耐震化

災害対策の充実

→ 給水車給水拠点・非常用自家発電設備の整備

→ 浄水管理センター機械棟・水処理棟等の耐震化

基本方針④健全経営のための基盤の強化



経費削減や業務の効率化を徹底しながら、質の高いサービスを提供するとともに、適切な料金体系のあり方を検討するなど、健全経営のための基盤の強化に努めます。



水洗化普及のための戸別訪問

水道

下水道

経営の健全化

経営の健全化

→ 施設の統廃合

→ 水洗化の普及促進

→ フライマリーバランスの確保と企業債残高の縮減など

→ フライマリーバランスの確保と企業債残高の縮減など